

第 23 回京都さくらよさこい開催概要

2027 年 4 月 3 日（土）・4 月 4 日（日）

※雨天決行、荒天中止

※会場・企画は構想であり現在調整中のものです。

2026 年 11 月吉日

京都さくらよさこい実行委員会

学生の街・京都が創った京都さくらよさこい。

おかげさまで 23 回目を迎えます。

京都は、その地域柄そして歴史から人と人との繋がり、そして地元への思い、古の都を偲ばせる建物などが調和し日常に溶け込むその営みは今も昔も変わらぬものです。生き生きと活動する学生達の意志は、激しくも魂溢れるものです。そして、学問の神様として親しまれる菅原道真公を祀る「北野天満宮」が存在するこの京都では今日も学生の活動が、京の町にひとつの灯をともしていると言えるでしょう。

そんな中、今こそ魂を燃やす舞により活気を呼び起こさんとし、令和 9 年春に幕を開ける第 23 回京都さくらよさこい。学生たちの情熱と努力によって受け継がれてきた本祭は、今年度も新たな歴史を刻もうとしています。

23 回目を迎える京都さくらよさこいは、満開の桜のように舞う踊り子たち、そして各会場に足を「踏み」入れてくださるお客様のおかげで、今日まで続いてきました。よさこいは、実際に目で見て、その場の空気を感じるからこそ、その彩りや魅力が鮮明に心に残るものです。言葉や文章だけで伝えきれない、その瞬間にしか味わえない感動があります。

今年は、そんなよさこいの魅力とこれまで京都さくらよさこいを繋いできた人々への感謝を込め、テーマを「***～文に刻めぬ舞を咲かせよ～彩***」と題しました。

「23」という数字は「ふみ」とも読むことができ、テーマに込めた「文」と「踏み」という二つの意味は、百人一首に収められた小式部内侍の歌にも通じるものです。京都にゆかりのあるこの歌の掛詞のように、言葉に込められた意味と、実際に足を運び、舞を目にすることで生まれる感動を重ね合わせました。

踊り子一人ひとりの個性や想いが舞となって咲き誇り、会場を訪れる皆様の心に色鮮やかな思い出を残す。そして、踊り子と観客、運営に携わるすべての人々が一体となり、京都の街に新たな彩りを添える。そんな祭りを目指し、これまで繋いできた京都さくらよさこいへの想いを、今年も未来へと繋いでいきます。

京都さくらよさこいが掲げる「サクヨサを全国区へ！」「京都の良さを活かしたお祭りに！」という想いを胸に、学生たちの力で京都の街に新たな春の息吹を届けます。

文には刻みきれない、今この瞬間にしか咲かせられない舞を。

歴史に刻む第 23 回京都さくらよさこい、いよいよ開幕します。

◯第 23 回 京都さくらよさこい学生実行委員会

学生実行委員長	松尾 真(立命館大学 2 回生)	**副学生実行委員長**	生島 日和(立命館大学 2 回生)
企画部統括	中嶋 麗華(同志社大学 2 回生)	**営業部統括**	一色 真慧(立命館大学 2 回生)
広報部統括	不田美菜子(立命館大学 1 回生)	**制作部統括**	新倉 隆裕(立命館大学 1 回生)

◯関西でも最大級のよさこいイベント

近畿を中心に活動するチームはもちろん、遠方からも多くのチームが参加します。参加チーム約 100 チーム、踊り子約 4000 人を見込み、目標観客動員数は 15 万人です。

◯22 年の歴史

京都さくらよさこい(通称さくよさ)は、2005 年 4 月「鴨川さくらまつり」の一環として京都を盛り上げたいという学生の思いから始まりました。その後、継続開催が決定し、第 3 回からは 2 日間開催となり、第 5 回から学生実行委員会が発足しました。回を重ねるごとに会場数も増え、現在では 5 会場で本祭を行っています。今年度もさくよさの歴史そしてその意思を絶やすまいと実行委員一同で開催に向けて話し合いを重ね、幸いなことに 23 回目の実施が決定いたしました。

◯学生の力を結集した運営

今年の京都さくらよさこいの学生実行委員は関西の大学生から構成されています。また、実行委員は営業部、広報部、企画部、制作部に分かれ、「京都さくらよさこい」当日に向け半年以上前から準備を進めています。春の京都を盛り上げるために、学生が試行錯誤しながら、来てよかったと思っていただけるようなイベント作りを目指し協力しながら運営しています。

○京都ならではの多彩な会場展開

春の京都には多くの観光客が訪れます。その中でも京都さくらよさこいは様々な観客の方に楽しんでいただいています。平安神宮前の神宮道スペシャルステージや二条城会場では観光地ということもあり、多くの観光客がカメラを片手に演舞を楽しんでいます。 春の舞い散る桜と踊り子が織りなす美しいコントラストを楽しめるほか、よさこいを知らない方々でも、その熱気そして臨場感をひしひしと感じることができます。さらに全世代の方々が楽しめる企画も用意しており、どなたでも楽しめる内容となっています。**4 月 3 日 (土) 、4 月 4 日**（日）の 2 日間、春の京都市内各地を彩ります。

○地域活性化にも貢献

京都に根ざしたイベントとして成長してきた「京都さくらよさこい」は、地元団体・自治体と連携した企画にもこれまで数多く挑戦。「歩くまち・京都」憲章に賛同し、全国から参加する踊り手たちに徒歩・公共交通機関利用を徹底し、日本たばこ産業株式会社京都支社との協力による「ひろえば街が好きになる運動」など、市内の景観維持・まち美化にも貢献し、観光資源の一つとしても確実に実績をあげてきました。

京都の春を彩る祭りとして、学生の力で地域を盛り上げ、よさこいの魅力を全国へ発信していきます。

第 2 3 回 京都さくらよさこい 開催概要

1.開催日時

令和 9 年 4 月 3 日 (土) 11:00~19:00 (10:30 より開催式)

4 月 4 日 (日) 11:00~20:00

2. 会場（予定）

・岡崎会場 (神宮道スペシャルステージ/神宮道南会場/神宮道スペシャルパレード)

・二条城会場

・京都駅前広場会場

・梅小路公園会場

3.企画概要

・会場演舞(LIVE 配信) : 京都府内外から集まった総勢約 100 チーム、4000 人の踊り子が 2 日間で市内各所の会場で演舞を披露します。

・参加型企画 : よさこいゲーム、桜型メッセージカード、推し文(好きなチームへの手紙)、推しメダルなど

・その他:お座敷、鳴子展覧会、メイク・マッサージ体験会、チームブース、フォトスポット、総踊り(45 分予定)

今まで以上に進化した祭りを目指し、新たなステージデザインや企画にも挑戦する予定です。

4. 主催

京都さくらよさこい 実行委員会 実行委員長 : 松尾 真

5. 共催（予定）

京都府、京都市、京都市教育委員会、公益社団法人京都市観光協会

※会場や企画などに変更のある場合がございます。

○会場案内


京都観光イラストマップ
京都宿泊インフォメーション
岡崎会場(神宮道スペシャルステージ・神宮道南会場・神宮道スペシャルパレード)
二条城会場
梅小路公園会場
京都駅前広場会場